内容

[1. 背景 2](#_Toc417588641)

[2. 課題 2](#_Toc417588642)

[3. 目的、方針 2](#_Toc417588643)

[4. 概要 2](#_Toc417588644)

[5. 機能 3](#_Toc417588645)

[6. 工程計画 3](#_Toc417588646)

[7. 成果物 4](#_Toc417588647)

# 背景

パソコンが普及した昨今、千葉工業大学で活動している部活動の会計職が仕事に不満を持っていることに注目した．年度の始まりに，昨年度の決算報告を作成し提出するのだが，レシートや領収書に記入してある，日付，購入物，金額，部類をエクセルにまとめて入力するのが面倒である，ということである．また，使用した金額分を購入者に返金しないといけないのだが，誰がいくら使ったかの詳細が不明となり，きちんと返金できない場合もある．

そのため，私たちは登録したユーザが各自で購入時に領収書の内容を登録できるようにするwebアプリを提案する．

# 課題

現在、明らかになっている課題は下記の通りである

* 二重請求による不正
* 記入漏れ

# 目的、方針

本システムは以下の方針で進めてゆく．

* 領収書を1人で手入力するのは面倒であるというユーザのニーズに答える
* 誰がいくら使ったかの詳細を管理したいというユーザのニーズに答える

# 概要

本システムは，決算報告時に領収書の内容を1人で手入力するのではなく，webアプリを経由して複数のユーザから登録できるようにするものである．そのシステムの内容は，データベースへの購入日，購入物，金額，部類の登録．そして，使用金額の算出及び確認，支出金額の総額算出である．

# 機能

* 購入者登録ページを作る．
* 購入者はIDとパスワードを使ってログインする．
* 購入者のIDと名前を表記する．
* 団体登録用のページを作る．
* 団体登録で作ったIDとパスワードは，会計職用のものとする．
* 団体のページと会計職用のページは同じものとする．
* 内容登録ページを作る．
* 会計職用のページでは訂正，変更，削除が可能．
* 日付，購入物，金額，部類，購入者の登録項目を設ける．
* 部類には，総務費，渉外費，交通費，団体活動費，企画費，保険料をリストボックスで設ける．
* 日付，購入物，金額は，テキストボックスで内容を入力する．
* 部類ごとの総額を算出する．
* 購入者の使用金額の総額を算出する.
* 月ごとの使用金額の総額を算出する.

# 工程計画

仕様決定 2015年5月8日

外部設計完了 2015年5月29日

内部設計完了 2015年6月19日

開発完了日 2015年7月3日

納品日 2015年7月10日

プロジェクト終了日 2015年7月24日

# 成果物

1. プロジェクト憲章
2. 要件定義書
3. ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャ
4. プロジェクト計画書
5. コスト見積書(概算)
6. 仮契約書
7. 外部設計書
8. テスト計画書
9. 中間発表資料
10. 引き渡し書
11. プロジェクト計画書(見直し)
12. コスト見積書(正式)
13. 本契約書
14. 内部設計書
15. プログラム
16. テスト報告書
17. 納品書
18. マニュアル
19. クオリティ・コスト・デリバリー評価報告書
20. マネジメントレポート
21. 最終発表資料
22. 議事録
23. 作業日報